

KONISHI REPORT

第95期 株主通信

第2四半期累計期間

2019年4月1日～2019年9月30日

 **コニシ株式会社**

証券コード：4956



当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き個人消費も増加する等、民需が改善しており、輸出や生産に弱さが続いているものの内需を中心とした景気は緩やかに回復しております。また、企業収益は底堅く推移しており、設備投資は製造業では減少しているものの、非製造業、ソフトウェア投資は増加しております。一方、米中通商問題による世界経済に与える影響

2020年 創業150周年に向け、 重点施策を着実に実行して参ります。

が懸念されております。そういった中、当社グループの関連業界では、住宅業界においては、新設住宅着工戸数が弱含みで推移しております。土木建設業界においては、都市部の再開発や建築物の補修・改修工事の需要および道路、鉄道などのインフラ整備並びに維持修繕の需要は堅調に推移しております。自動車業界においては、電子化、電動化が進み電子部品等の需要は増加しております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高651億96百万円(前年同四半期比3.4%増)、営業利益30億60百万円(前年同四半期比6.7%増)、経常利益31億25百万円(前年同四半期比5.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億68百万円(前年同四半期比8.7%増)となりました。

さて、当社ははいよいよ2020年に創業150周年を迎えることとなります。1870年に薬種商としてその歴史を歩み始めて以来、化学品などを扱う専

門商社としての「化成品事業」と、合成接着剤などを製造・販売するメーカーとしての「ボンド事業」、そして関係会社を中心に展開する社会インフラおよび建築ストック市場の維持・補修・改修を目的とした「土木建設事業」を主力事業とし、これまで歩みを進めて参りました。長い歴史の中で培ってきた皆様からの信頼を今後とも大切にし、グループ経営をより一層推進しグループ各社の連携強化による相乗効果を発揮することで、安定した利益を創出し企業価値を高めて参ります。また、これまでの事業を継続し発展させるとともに、新分野・新領域の開拓にも挑戦して次の柱の創出を目指していきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 よこ た たかし 横田 隆

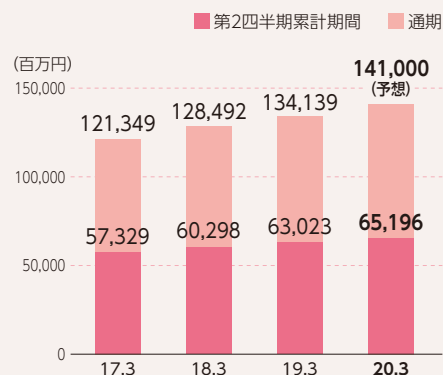
第2四半期累計期間 連結財務ハイライト (2019年4月1日～2019年9月30日)

個別財務ハイライトについてはP.8をご覧ください ▶▶▶

売上高

65,196
百万円

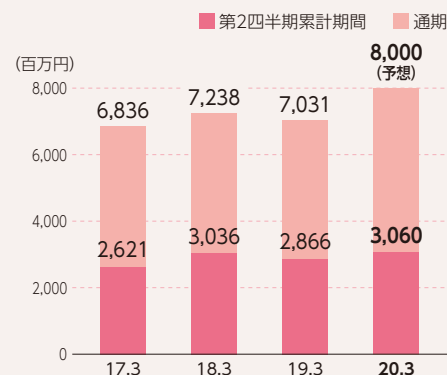
前年同四半期比
3.4%増 



営業利益

3,060
百万円

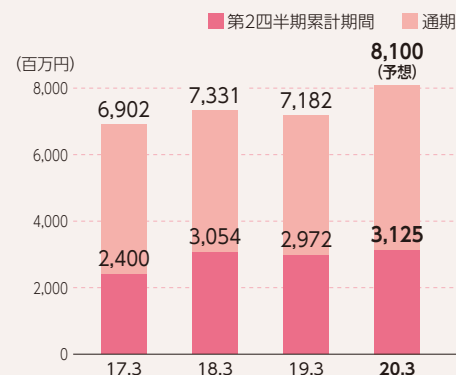
前年同四半期比
6.7%増 



経常利益

3,125
百万円

前年同四半期比
5.1%増 



ポイント解説

売上高は、化成品セグメントは前年並みだったものの、ボンド、土木建設セグメントともに好調に推移し、ほぼ計画どおりとなりました。特にコニシ㈱のボンド部門、土木建設部門で販売している接着剤、シーリング材が好調に推移し、売上を大きく伸ばしました。

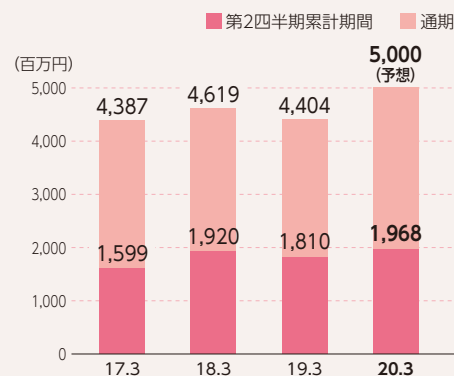
営業利益は、ボンドセグメントが好調に推移し全体では増益となりました。

ボンドセグメントは前期の値上げによる販売価格の上昇や販売数量増加により増益となりましたが、土木建設、化成品セグメントは全般的には好調に推移したものの一部関係会社の不調により減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

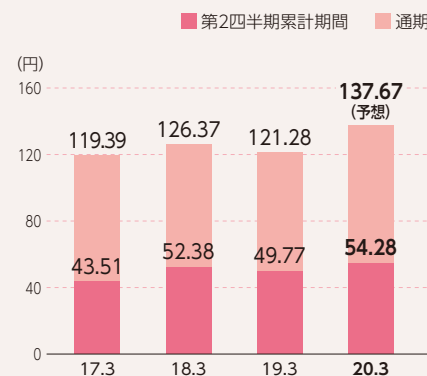
1,968
百万円

前年同四半期比
8.7%増 



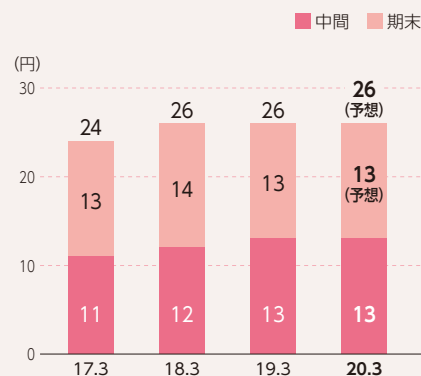
1株当たり四半期(当期)純利益

54.28 円



1株当たり中間(期末)配当金

13 円

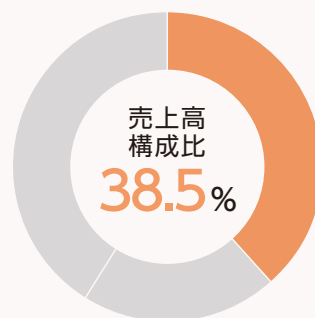


ボンド

事業内容

「ボンド」ブランドの接着剤、シーリング材、工業用テープ、離型剤、ワックスなどを製造するメーカーとしての活動を行っています。ボンドセグメントが関わる分野は、住まいの内外装工事に使用される住宅関連分野、工場の生産ラインで使用される産業資材関連分野、工作・DIYで 사용되는一般家庭用分野など多岐にわたります。

浦和と大阪に研究開発拠点を備え、新製品の開発・改良を行っています。生産拠点は栃木工場・滋賀工場の2拠点で、栃木と滋賀には自社で物流センターを構えています。



売上高

25,074 百万円

前年同四半期比

+4.3%

営業利益

2,089 百万円

前年同四半期比

+9.8%

セグメント 構成

コニシ(株) ボンド営業本部
水口化学産業(株) ボンドケミカル商事(株) ボンド販売(株) ボンド物流(株) ウォールボンド工業(株)
サンライズ(株) KB LINE(株) 科昵西貿易(上海)有限公司 科陽精細化工(蘇州)有限公司
Kony Sunrise Trading Co.,Ltd.(タイ) Konishi Lemindo Vietnam Co.,Ltd.(ベトナム)

当第2四半期連結累計期間の概況

住宅関連

新設住宅着工戸数は弱含みでありましたが、他社切替や新製品の売上が寄与し、現場で使用される内装用接着剤、シーリング材、建築資材の製造に使用される接着剤が順調に推移しました。



産業資材・一般家庭用関連

産業資材関連は自動車、電子部品等に使用される接着剤が引き続き売上を伸ばしました。一般家庭用関連はホームセンターやコンビニエンスストア等の主要な販売ルートで売上が堅調に推移し、手芸ルート向けの新製品「ボンド 裁ほう上手スティック」はCM放映の効果で売上が増加しました。



関係会社

サンライズ(株)は既存ルートやコニシ(株)向け施工用接着剤の販売が順調に推移し売上が大きく伸長しました。ウォールボンド工業(株)はコニシ(株)向け壁装用接着剤の販売が引き続き好調で売上が伸長しました。

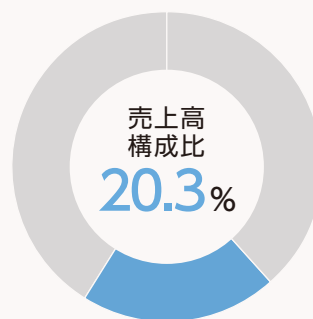


土木建設

事業内容

現在では過去に建てられた建築物ストックや社会資本ストックを、補修・改修してより長く利用できるように維持管理していく時代になってきています。コニシグループでは、関係会社を中心に展開しておりますストック市場の維持・補修・改修を目的とした「土木建設」を、「ボンド」「化成品」に次ぐ第3の柱として事業展開しています。

コニシ(株)のビル・マンション・橋梁・トンネルなどを直す際に使用される土木建設用接着剤、補修材、シーリング材と、それら補修・改修工事の請負事業であるコニシグループ関係会社との連携をさらに強化し、人々が豊かで安心できる社会づくりに貢献いたします。



売上高
13,223 百万円

前年同四半期比

+9.6%

営業利益

608 百万円

前年同四半期比

△2.5%

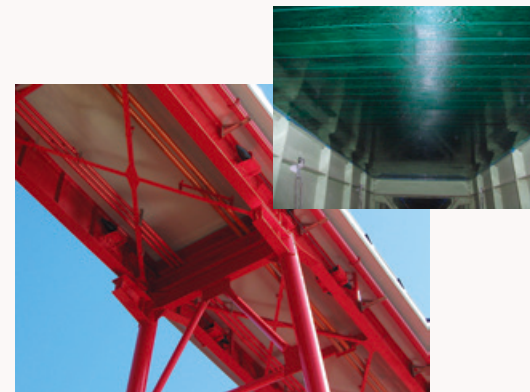
セグメント構成

コニシ(株) 土木建設営業本部 ボンドケミカル商事(株) ボンドエンジニアリング(株) ボンド物流(株)
近畿鉄筋コンクリート(株) 角丸建設(株) コニシ工営(株) KB LINE(株)

当第2四半期連結累計期間の概況

土木建設工事分野

公共事業を中心としたインフラおよびストック市場の補修・改修・補強工事は引き続き堅調に推移しておりボンドエンジニアリング(株)の売上は大きく増加しました。一方、近畿鉄筋コンクリート(株)は工事の遅れや仕損工事の影響で売上および営業利益が低調に推移しました。



土木建設用の接着剤・シーリング材

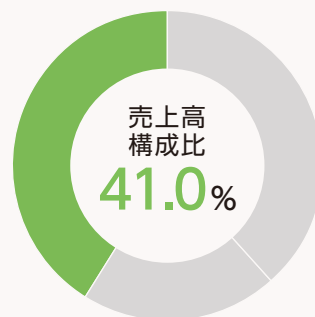
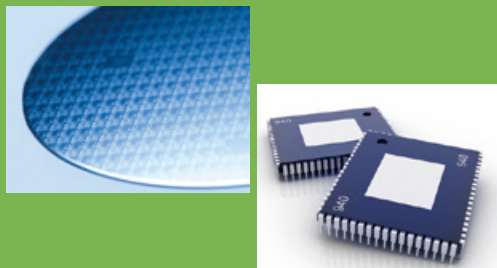
東日本エリアの販売が好調で売上は大きく伸長しました。建築分野においては、外壁はく落防止工法に使用する材料、建築用シーリング材が好調に推移し、売上が増加しました。土木分野においては、表面保護、はく落防止工法は低調に推移しましたが、連続繊維シート補強工法が好調に推移し、売上が増加しました。



化成品

事業内容

企業間を結ぶ化学品専門商社として、メーカーから原料などを仕入れて、ユーザーに販売する活動を行っています。化学品、塗料、電子電機、自動車などの分野を中心に、中国・台湾・タイ・インドネシアの海外拠点とも連携を図りお客様のニーズにお応えしています。また、2017年に新設しました材料科学研究所と連携し、自社技術を活かしたコニシならではの提案型商社の構築を目指していきます。



売上高

26,759 百万円

前年同四半期比

△**0.4%**

営業利益

263 百万円

前年同四半期比

△**13.5%**

当第2四半期連結累計期間の概況

化学工業および電子電機業界向け

化学工業業界においては、樹脂原料の販売が低調に推移し、売上は減少しました。
電子電機業界においては、半導体関連商材およびスマートフォン関連商材が低調に推移し、売上は減少しました。



自動車業界・塗料業界向け

自動車業界においては、電子部品に使用される商材が好調に推移し、売上は大きく増加しました。
塗料業界においては、自動車補修用塗料向け商材は低調に推移しましたが、建築用塗料向け商材が好調に推移し、売上は横ばいで推移しました。



関係会社

丸安産業(株)は、半導体製造に使用される商材およびコンデンサに使用される商材が低調に推移し、売上、利益ともに大きく減少しました。



セグメント 構成

コニシ(株) 化成品営業本部 丸安産業(株)
科昵西貿易(上海)有限公司 PT.KONISHI INDONESIA(インドネシア)
Kony Sunrise Trading Co.,Ltd.(タイ) 台湾丸安股份有限公司

その他

不動産賃貸業となり、売上高1億37百万円(前年同四半期比165.2%増)、営業利益は1億13百万円(前年同四半期比236.1%増)となりました。

セグメント 構成

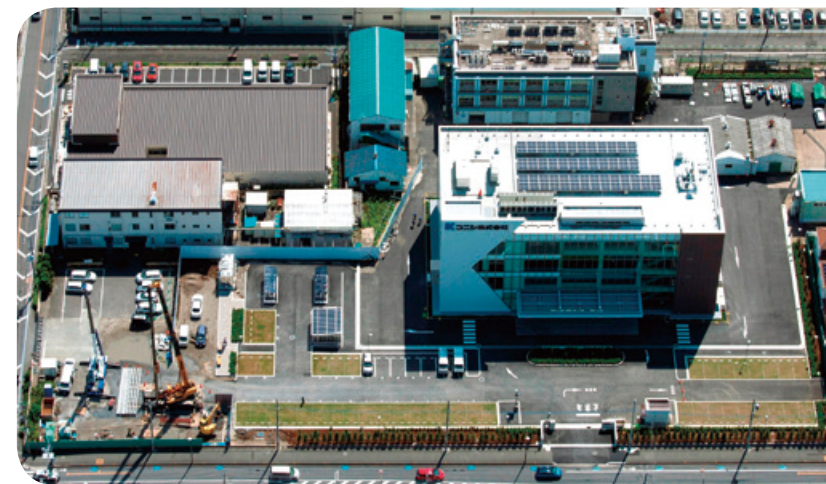
コニシ(株) 不動産部門

関東支社が完成しました

浦和工場跡地に建設を進めておりました新社屋が完成し、2019年9月24日より東京本社の事務所を新社屋へ移転、「関東支社」と改め業務を開始する運びとなりました。

完成した関東支社は、鉄骨造4階建ての免震構造の設計で、受付エントランスは4階まで吹き抜けでとても明るく開放的な空間となっております。1階は受付業務スペース。ペーパーレス化を進めており、FAXで送られてきた注文が各自のPC画面に表示されるシステムを導入しております。2階と3階は営業スペースとなっております。ボンド・土木建設・化成品部門の営業担当者が空いている席に自由に座って、部門間、部署間のコミュニケーションが図れる「フリーアドレス」となっております。また3階は業務に集中できるよう1人席も取り入れ、執務中に電話をする際の電話専用ブースも設置しております。4階はダイニングスペースとなっております。朝食を無料で提供、始業前の社員同士の交流の場となっております。また関東支社と同じ敷地内に、接着剤の研究開発を行う浦和研究所、商社部門である化成品部門からの案件の研究開発を担う材料科学研究所が隣接しており、営業と研究開発の連携をさらに強化して製品開発の迅速化を目指していきます。

この新社屋完成を機に社員一同、気持ちを新たににより一層の努力をして参ります。



外観



受付エントランス



2階営業スペース



3階営業スペース



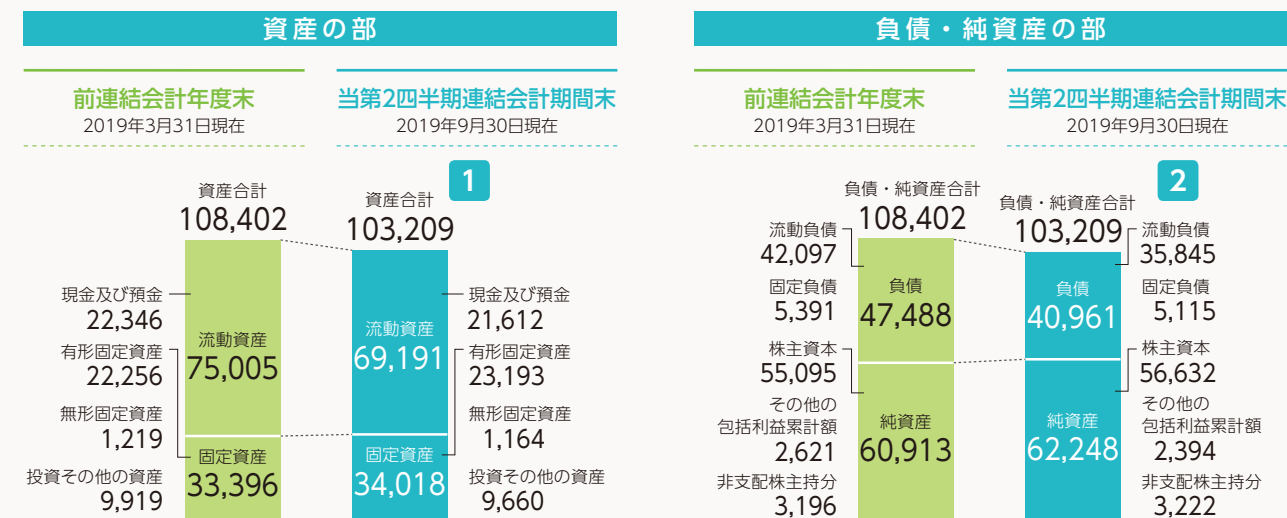
4階ダイニング



4階コミュニケーションスペース

連結貸借対照表

(百万円)



ポイント

1 資産

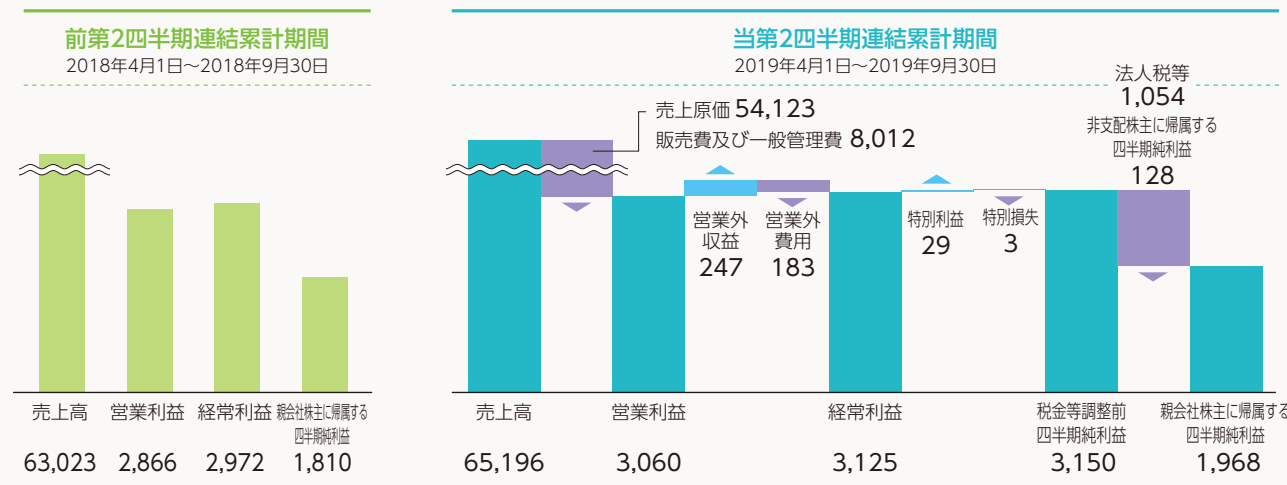
資産は、有形固定資産が9億37百万円、未成工事支出金が3億72百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が56億57百万円、現金及び預金が7億34百万円、投資有価証券が2億47百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ51億92百万円減少しました。

2 負債・純資産

負債は、支払手形及び買掛金が42億51百万円、電子記録債務が12億95百万円、長期借入金が1億85百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ65億27百万円減少しました。
純資産は、その他有価証券評価差額金が1億64百万円減少したものの、利益剰余金が14億96百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ13億34百万円増加しました。

連結損益計算書

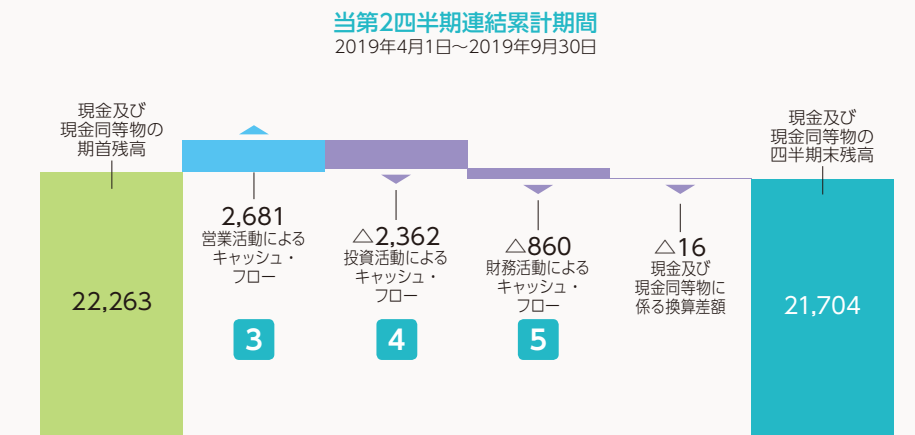
(百万円)



個別財務ハイライト

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)



ポイント

3 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、仕入債務の減少額が52億58百万円、法人税等の支払額が13億34百万円あったものの、売上債権の減少額が58億1百万円、税金等調整前四半期純利益が31億50百万円あったこと等により26億81百万円となりました。

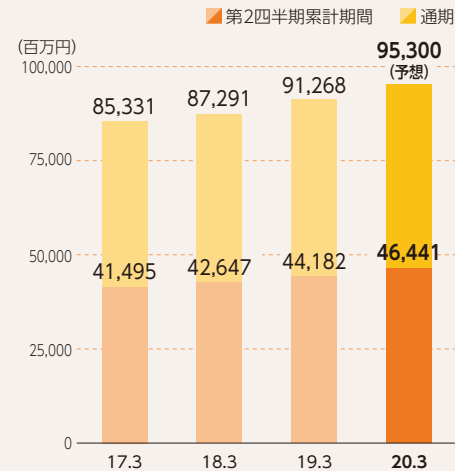
4 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出が24億86百万円あったこと等により23億62百万円となりました。

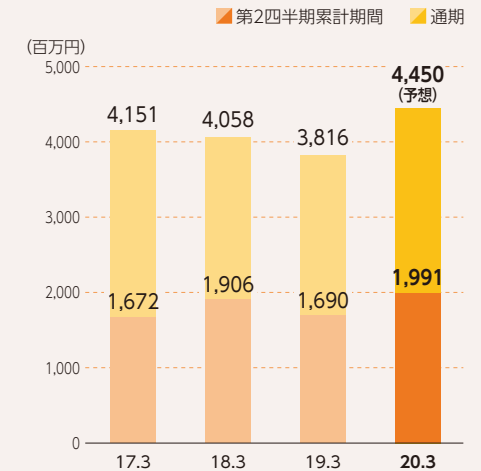
5 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、配当金の支払額が4億71百万円、長期借入金の返済による支出が3億55百万円あったこと等により8億60百万円となりました。

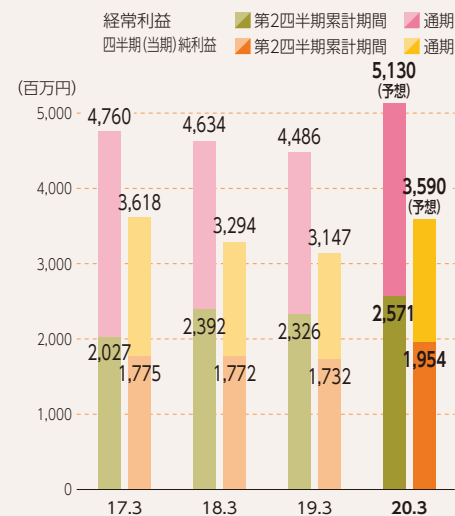
売上高



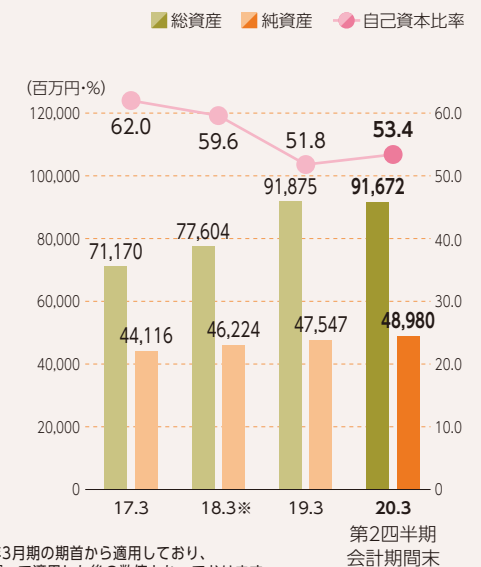
営業利益



経常利益・四半期(当期)純利益



総資産・純資産・自己資本比率



※「税効果会計に係る会計基準」の一部改正等を2019年3月期の期首から適用しており、2018年3月期末の数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

会社概要

会社概要

(2019年9月30日現在)

設立 1925年(大正14年)9月25日
 資本金 46億3百万円
 従業員数 連結1,342名、単独751名
 証券コード 4956
 事業所 本店 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目6番10号
 大阪本社 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目7番1号
 北浜コニシビル
 関東支社 〒338-0832 さいたま市桜区西堀5丁目3番35号
 支店 名古屋、福岡、横浜、札幌
 営業所 仙台、栃木、前橋、千葉、静岡、金沢、滋賀、姫路、高松、広島、沖縄
 製造拠点 栃木工場、滋賀工場
 研究所 浦和研究所、材料科学研究所、大阪研究所
 物流拠点 栃木物流センター、滋賀物流センター

役員

(2019年9月30日現在)

代表取締役社長	横田 隆	常勤監査役	東郷 正人
取締役専務執行役員	日下部 悟	社外監査役	吉川 郁夫
取締役専務執行役員	有澤 彰三	社外監査役	川田 憲治
取締役常務執行役員	井上 孝一郎	社外監査役	中田 基之
取締役常務執行役員	大山 啓一	上席執行役員	野田 昌治
取締役常務執行役員	松端 博文	執行役員	高中 喜一郎
取締役上席執行役員	巖 利彦	執行役員	大西 邦弘
社外取締役	高瀬 桂子	執行役員	川竹 正敏
社外取締役	木村 亮	執行役員	岡本 伸一



株式の状況

株式の状況

(2019年9月30日現在)

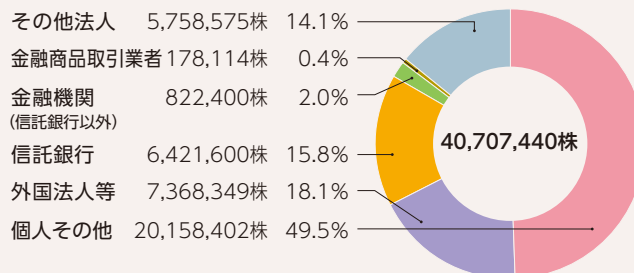
発行可能株式総数.....160,800,000株
 発行済株式の総数.....40,707,440株
 1単元の株式数.....100株
 株主数.....4,578名

○大株主 (上位10名)

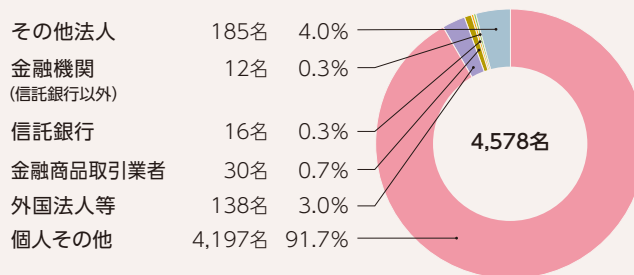
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
コニシ共栄会	2,248,200	6.19
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,893,300	5.21
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,354,400	3.73
BRITISH EMPIRE TRUST PLC	710,350	1.95
コニシ従業員持株会	686,356	1.89
株式会社カネカ	684,000	1.88
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口5)	678,200	1.86
小西哲夫	657,700	1.81
小西新太郎	543,216	1.49
三菱UFJ信託銀行株式会社	540,000	1.48

(注1) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式はすべて信託業務に係る株式であります。
 (注2) 出資比率は、自己株式(4,432,594株)を控除して記載しております。
 また、小数第3位以下を切り捨てて表示しております。

○所有者別株式数の分布状況

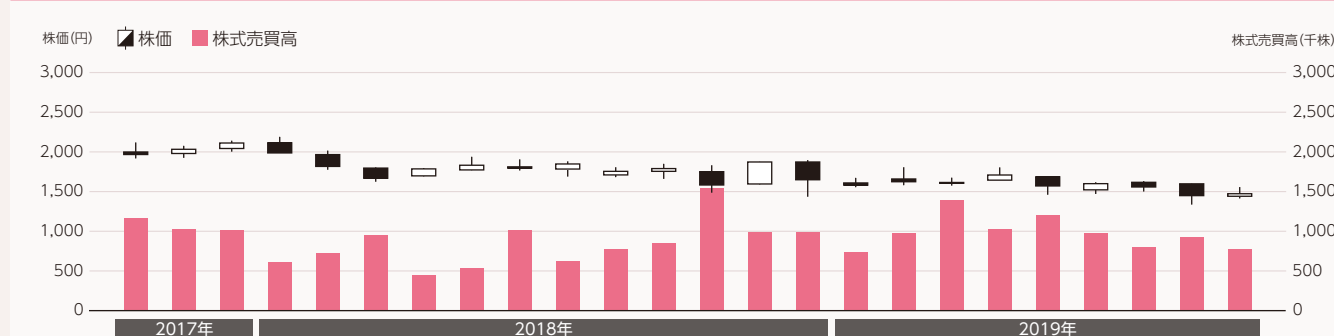


○所有者別株主数の分布状況



株価および株式売買高の推移

(2019年9月30日現在)



WEB SITE

ホームページ紹介



当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報について積極的に情報開示を行っております。より深くご理解いただくためにも、ぜひご利用ください。



アドレス

<http://www.bond.co.jp/ir/index.html>

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL
<http://www.bond.co.jp/ir/koukoku/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



大阪本社／〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1 TEL 06(6228)2811
関東支社／〒338-0832 さいたま市桜区西堀5-3-35 TEL 048(637)9940



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



この印刷物は、環境に配慮しFSCの
認証紙と水なし印刷方式を採用し
ています。